

## 2021年度に向けた教育研究目標

## 【A票:教育研究目標1】

(タイトル)

博士課程教育の着実な推進

(狙い内容)

昨今のオーバードクター問題の悪化等の社会経済情勢に鑑み、最終学歴の究極形である博士号を、内容の伴ったものとして輩出する。具体的には、博士と名乗るに相応しい学識を備えた人材を厳しく陶冶し、毎年、博士の学位を名乗るにふさわしい人物のみに学位を授与することを通じ、学位を与えられた者の活躍を図るとともに、本学の教育研究の充実、さらには本学の学問的地位の向上を図る。

## 1. 6年後(2021年度)の目指す姿(目標)

昨今のオーバードクター問題の悪化等の社会経済情勢に鑑み、最終学歴の究極形である博士号を、内容の伴ったものとして輩出する。

## 2. 上記の目標を設定した背景、課題及び現状分析について、記述してください。

昨今のオーバードクター問題の悪化等の社会経済情勢に鑑み、最終学歴の究極形である博士号を、その名前に内容の伴ったものとして適切な人数輩出する事が課題である。現状でも、博士と名乗るに相応しい学識を備えた人材を毎年適切な人数に絞って輩出しているが、引き続き、博士と名乗るに相応しい学識を備えた人材を厳しく陶冶し、毎年、博士の学位を名乗るにふさわしい人物のみに学位を授与することを通じ、学位を与えられた者の活躍を図るとともに、本学の教育研究の充実、さらには本学の学問的地位の向上を図る。

## 3. 達成度評価

評価指標	博士課程在籍者(x)による査読付学術論文数(y)	評価尺度	A: $y > x \div 3$ B: $y = x \div 3$ C: $y < x \div 3$ D: $y < x \div 6$
------	--------------------------	------	--

## 4. 年度毎の目標値

2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
C	C	C	B	B	A	A